

第2部 スマート物流サービス関係者との意見交換会

スマート物流サービスとは？

物流プロセス全体を最適化・効率化し、ドライバー不足や人件費の高騰など物流全体の問題解決を目指す取り組みです。そのサービスの1つである買い物代行サービスは市民がECサイト、電話などで希望の商品を注文すると、近くの公民館に商品が配送されるサービスです。

スマート物流サービスの現状

- ・買い物代行サービスに出店している加盟店舗は5店舗
- ・利用者は増えてきている
- ・高齢者は電話での注文が大半を占めている
- ・ドローンを利用した配送はまだ実施していないが、航路は11ルートを計画している



スマート物流サービス関係者

スマート物流サービスの今後

- ・のみ商業協同組合に協力を呼びかけて、加盟店舗数を増やすべき
- ・高齢者でも利用しやすいようにアプリ、ECサイトを工夫する
- ・利用者へのポイント付与等を実施することで今以上に利用頻度が増すのではないかと

スマート物流サービスの課題

- ・出店加盟店舗数が少ない
- ・高齢者は電話を使わないと注文しづらい
- ・中山間地域での利用者を増やしたい
- ・のみ商業協同組合の商品券が使用できない
- ・ドローンを利用した商品配送の実用化

意見交換会参加者の感想



株式会社 CNC 橋本 健太郎さん

能美市をより良くするためにも、デジタル技術を活用して誰一人取り残さないという思いがあふれるいい会だったと思います。私たちもコミュニティサポーターとして公民館でのデジタルサービスのサポートなどを通じて多世代のつながりを広げていきたいです。



株式会社 NEXT DELIVERY 歌川 新士さん

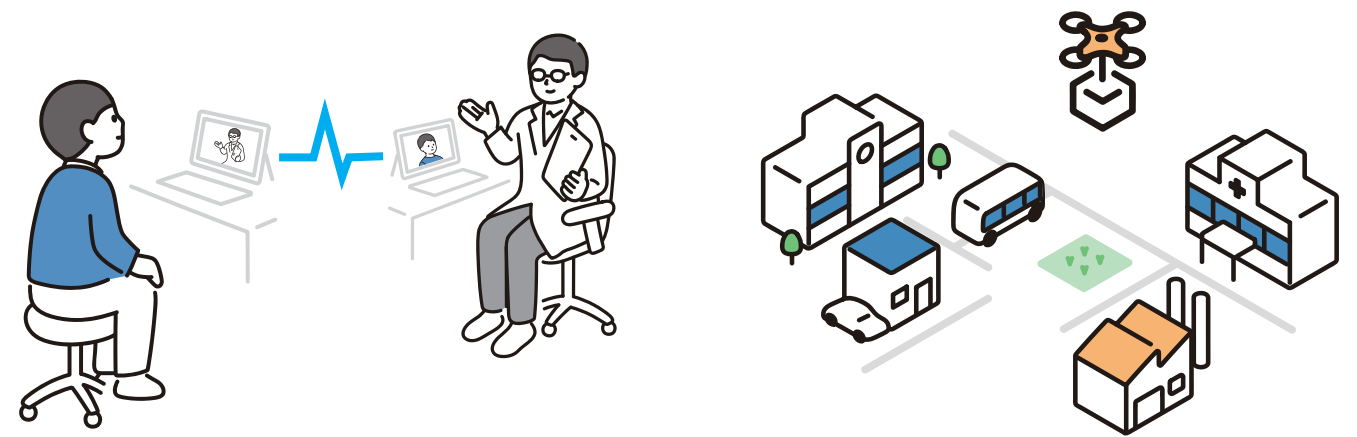
今回の意見交換会に参加して、様々な立場の方の意見を聞かせていただいた中で、特に社会福祉協議会の方から地域の困りごとの意見を頂けたことと、のみ商業協同組合が実施したアンケートのフィードバックを頂けたことが参考になりました。

意見交換会を終えて

オンライン診療とスマート物流サービスに携わっている関係者の現場の声をお聞きし、両事業の現状や抱えている課題等を明確にすることができた。今後は課題解決に向けた、総務産業常任委員会としての提言を行っていく。また、意見交換会を通じて、地域の生活拠点である公民館をデジタル化し、より利便性を高めることは持続可能な社会の実現に必要不可欠であるということを改めて再認識することができた。

市民との意見交換会

デジタル技術を活用して新しい持続可能な生活スタイルを



令和7年6月27日に公民館でのオンライン診療・スマート物流サービス関係者との意見交換会を2部制で開催しました。

今回の意見交換会は総務産業常任委員会の所管事務調査のテーマである「デジタル公民館の活用」に深く関連している関係者(能美市立病院、コミュニティサポーター、配送業者、のみ商業協同組合、社会福祉協議会)に参加していただきました。

第1部 オンライン診療関係者との意見交換会

オンライン診療とは？

病院までの通院が困難な人を対象に、近隣の公民館(現在は粟生公民館のみ)で能美市立病院の医師によるリモートでの診察を受けられるサービス。薬を公民館または自宅まで配送してもらうこともできます。

オンライン診療の現状

- ・実証実験中(現在3名利用)
- ・利用者からは自宅近くの公民館で気軽に診察してもらえてうれしいという声がある
- ・利用者のプライバシーを守る必要がある
- ・能美市立病院に通院し、主治医がオンライン診療を可能と判断した人のみ対象



オンライン診療関係者

オンライン診療の今後

- ・オンライン診療を利用できる対象者の範囲を拡大する
- ・市民に対してのオンライン診療の利便性をより認知してもらうための取組を行う
- ・オンライン診療利用者と公民館でコミュニケーションをとる機会を設けていきたい

オンライン診療の課題

- ・体制整備と必要な方への周知
- ・粟生公民館以外の公民館でのオンライン診療実施
- ・自宅から公民館まで距離がある人もいる
- ・プライバシー保護の関係で、オンライン診療利用者と町会・町内会の交流の場がない